



2019年11月29日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 12月号

子どもを見ることは未来を見ること、大きな希望 校長 Sr. 大山 江理子

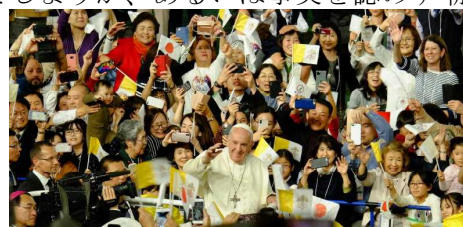
12月になり、校庭の赤く染まった木々の葉が冬の訪れを告げています。カトリック教会では待降節を迎え、イエスの誕生を待つ季節となりました。初等科でもプラクティスが始まり、クリスマス・ウィッシングの練習にも熱が入ります。クリスマスは心温まる時です。そして、キリスト教由来なのに誰にでも開かれているお祝いとして、日本の多くの人にもすてきなプレゼントやケーキ、きらびやかなイルミネーションに心躍らせることが12月の日常となっています。



11月末に日本を訪問された教皇フランシスコは、カトリック教会を代表する存在として、イエスのメッセージを改めて強く私たちに思い起こさせてくださいました。教皇はいつも弱い人々、貧しい人々を心にかけて、あらゆるいのちが繋がりの中にあることを強調されています。今回の短い訪問でも、長崎・広島で被爆された方々、東日本大震災で被災された方々と出会われて、平和・いのち・連帯について明確なメッセージを出されました。弱く、小さい人々の声に耳を傾け、言葉とし、語ること、これが教皇の姿でした。

イエスは一人の小さい子どもとしてこの世界に来てくださいました。それも旅先で貧しく生まれる姿を選んで。まず、私たちはイエスの姿に目を向け、耳を傾けたいと思います。私たちは誰でも弱さや貧しさを抱えています。正直にそれに目を向けることは辛いことでもあります。しかし、イエスはその共にいてくださいます。目に見えて華やかなところではなく、貧しく、厳しい現実の中にイエスはいます。フランシスコ教皇は今回の長崎でのミサの説教の中で、3つの選択肢について述べています。真実から目を背けて沈黙してしまうか、あるいは事実を認めず嘲笑するか、それともイエスが真実と告げ知らせるか。

教皇フランシスコは子どもを見ることは未来を見ること、子どもたちは大きな希望と言っています。この待降節に、子どもたちと共に、正直に、勇気をもって、誠実に大事なことを見つけ、言葉にし、語っていききたいものです。



12月の行事

2日(月) ハイチデー 1年・転入・編入生保護者会	10日(火) 面接日・午前授業
3日(火) 1st ゆりの行列(4限)	11日(水) CW練習③(1・2限)
4日(水) CW練習②(1限) 母の会代表幹事会	17日(火) 1・2限平常授業 CW総練習3・4限、午後大掃除
5日(木) 作文発表会	18日(水) クリスマス・ウィッシング
6日(金) 2年都バス営業所見学	19日(木) 信者静修会
7日(土) 白金地区合同音楽会	24日(火) クリスマスミサ 19:30～ 聖堂
9日(月) 2nd ゆりの行列(1限)	25日(水) クリスマスミサ 9:00～ 聖堂 初等科生には25日のミサをお勧めします。 (保護者同伴・制服着用)

これを好む者はこれを楽しむ者に如かず

副校長 大島 久幸

過日の一日学校参加日には、大勢の保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。また、子どもたちの学習や生活の様子をご覧になったの感想もたくさんいただきました。

子どもたちが活躍していることや教師の指導に対しての温かいお言葉の数々に感謝申し上げます。そのような中にも改善のヒントとなるご指摘もいただきましたので、真摯に受けとめていきたいと考えています。

来年度から完全実施される新学習指導要領のポイントの一つに「主体的・対話的で深い学び」というものがあります。聖心では、これまでも子どもたちの興味や関心から学習課題を見つけ意欲的に学習に取り組めるような工夫をしまっていました。

その結果、手前味噌になりますが、一日授業参観で保護者の皆様にご覧いただいたように大勢の子どもたちが楽しく授業に参加しています。

聖心の子どもたちですから、教師の指示や問いかけに素直に反応していますが、時折、『子どもたちが、本当に好んで勉強できるようにしているだろうか？先生が言うので仕方なく宿題や自主学習をやっているのではないだろうか？』という疑問をもつことがあります。

それは、先日、論語を読んで、つぎの言葉を目にしたときに思いました。

子曰く、これを知る者はこれを好む者に如かず。

これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。

(孔子が言われた。学問を知っているだけでは、学問が好きで学んでいる人には及ばない。また、好きで学んでいるだけでは楽しんで学んでいる人には及ばないのである。)

知らないより知ってる方がいいが、それだけではだめである。「好きこそ物の上手なれ」というように、好きでなくては本当には極められない。しかし、それでも不十分で、学問をすることが楽しくて仕方がないという境地になってこそ、本当の学問なのである。という意味だそうです。

聖心の子どもたちにとって、学習することが、生活することが楽しくて仕方がないというところまで高めていきたいと日々研鑽を積んでいるところです。

まだ、少し早いですが、今年一年のご厚情に感謝いたします。ありがとうございました。良い年をお迎えください。



【一日学校参観日】



【4年生 理科の授業】

リンゴの皮むき 6年生⇒1年生

毎年この時期になると、6年生が1年生の教室を訪問し、リンゴの皮むきをします。夏休み頃から練習をして、この日を迎えます。1年生は、6年生の巧みなナイフ使いに驚いていました。6年生は、「まさか自分たちがやるとは思っていなかった。」と5年前を懐かしそうに思い出していました。



*喪中につき年末年始のご挨拶を失礼させていただきます。
 佐々木佳子教諭